

# 6m AND DOWN コンテスト 入賞者レポート

今回、シングルオペ 50MHz バンド部門で入賞した 4 名、マルチオペオールバンド部門で入賞した 1 グループより寄稿をいただきました。50MHz バンドは E スポが出れば全国と交信のチャンスがありますが、それぞれのエリアによって地域性が出てくるバンドでもあります。マルチオペオールバンド部門でレポートをお願いした東京大学アマチュア無線クラブは、優勝を目指して富士山頂上に移動し、全国 TOP の成績を収めるという快挙を成し遂げました。誰にでも上位入賞、優勝のチャンスはあります。入賞者のコメントを読んで、次回のブラッシュアップにつなげてみてください。

## コンテストを楽しむこと

電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド  
関東 1 位

JH7PKU/1 金生 剛

の DX / JA コンテストへの参加、'94~'96 にはアメリカ Philadelphia に滞在、USA コンテスター達と交流、WRTC'96 へ参加など。

使用機材

得点	マルチ
895 ×	53 = 47.435

- リグ: TS570S
- ANT: CL6DXX(7L) + CL6A(5L)
- ロギング: zLog for Win.



なぜこの部門を選んだのか

田舎に住んでいると V / UHF ではまとまった局数できませんので、このコンテストにはいつも 1 エリアから参加。

オールバンドの設備を持って行くのは大変だし 2400MHz 以上の設備がないため、シングルバンドで出ることにしています。

2001 年は 430MHz でしたので、2002 年は 50MHz にしてみました。

獲得目標

1999 年にも同一部門に出ていますので、自己記録 802Q × 56M = 44,912 点の更新を目標としました。

準備

指向性 ANT が一系統しかないとは ANT の NULL に位置する相手が聞こえないのではないかと不安にかられる性分なため、ANT は 2 系統を別々に上げて同位相給電、それぞれへの単独給電を切り替えることにしました。

プロフィール

1976 年開局以来、たくさんの局と短時間に交信できるのが好きで、国内 DX とコンテストを中心に無線を楽しんでいます。主な活動歴は、'81~JA1YWX / JA1ZLO / JG1ZUY でのマルチ OP、'90~KH0AM / V85HG / FG5BG / 3DA5A / V8JA のコンテスト PEDI、'92~郷里の別宅シャックから

Q マッチ用同軸 (50 オーム × 2 と 75 オーム × 2) を引っ張り出して来て動作確認。あとは、CONDX 次第です。開け過ぎれば端のエリアの局には勝てませんし、全く開けなければ、GW でマルチが稼げる関西方面には勝てません。そこそこに開けてくれるよう運を天にお任せ!

スタートから終了まで

開始直後はひたすら SSB でランニング。その後は CW/SSB を行ったり来たりでした。

ランニングでは、一方の ANT で遠くを狙いつつ、同時に他方は大栗田の東京神奈川に向けていました。マルチを呼ぶ場合や弱い局に呼ばれた場合は一本に切り替えていました。

遠くのエリアから呼ばれたら、バンド内を一巡り S&P。

6m の CONDX についてはほとんど素人ですが、今回は短時間のオープンもうまく捕らえられたと思います。

CONDX の変化を追いかけることで、中だるみもなく 18 時間テンションを維持できました。

反省点

幸運なことに、今回バンドは「そこそこ」に開けてくれました。895Q × 53M。「開けすぎ」の 1999 年より 3 マルチ減ですが、局数が 93QSO 増で、47,435 点。自己記録更新、大満足です。

今後また 6D で 50MHzMIX をやる機会があれば、端のエリアから参加してみたいものです。今度は「思いっきり」開けてくれるように期待して。：)

しかし、昨今の参加局数減少から、この部門の 1985 年 JF3GPS/4 の 1120Q × 59M のレコード (だと思います) が敗れることはないだろうと思います。

アドバイス

よく言われることですが、目標を持って参加すること、また、現在の設備や環境が入賞するには難しい状況だとしても「いつかは、きっと」という姿勢で興味を維持することも大事なのではないかと思えます。そして、何より ”コンテストを楽しむこと!”

Thanks for QSOs. See you in the next contest.  
73, TAD JH7PKU

## 「とにかく入賞」を目指した

電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド  
東海 1 位

JF1MIA/2 菅原隆

得点		マルチ		
485	×	36	=	17,460



プロフィール

1973 年開局。50MHzAM から始めました。始めのうちはコンテストにはほとんど参加しなかったし、アマチュア無線活動も長い間停滞状況が続きました。就職して会社のクラブ局 JH1YHS に入ってからだんだんコンテストにも参加するようになってきました。10 年ほど前から FD コンテストで JK1YMM / 2 に参加するようになり、本格的にコンテストに参加するようになってきました。

使用設備

- リグ : IC - 746
- アンテナ : 6 エレ八木 (CD CL6DX)6mH
- 周辺機器 : ボイスメモリー、エレキー
- ソフト : zLog
- 発電機 : スズキ SX650R

## なぜこの部門を選んだのか

FD は JK1YMM / 2 で 7MHz 担当, All JA は個人局で 3.5MHz に参加することが多くローバンド屋のようになってしまいました。ローバンドが得意な訳ではありませんが成行きでそうになりました。上のバンドでコンテストはほとんどやったことがありませんが, このコンテストで一番低い周波数の 50MHz で参加することにしました (一応ローバンドのつもり)。

オールバンドも魅力がありますが, 機材の運搬や設営が大変でコンテスト前に疲れ切ってしまいそうなのでシングルバンドとしました。自分の実力・体力に合った部門と考えました。

## 獲得目標

6m & Down では 1 度も入賞したことがないので, 目標は「何位でもいいからとにかく入賞すること」でした。

## 改善・強化ポイント

2001 年の 6m & Down は今回と同じ 50MHz で海老名市から参加しましたが, 低地なので局数がなかなか伸びず 11 位ぐらいだったと思います。それで今回は 1000m 程度標高があるところに移動することにしました。それと, 消極的な理由ですが激戦区の 1 エリアから逃げて 2 エリアにしました。移動地は JK1YMM / 2 でよく行っている静岡県賀茂郡賀茂村にしました。

## 準備

準備らしいことはあまりしてませんが, 忘れ物が無いように荷物の確認程度です。固定からの参加と違い, 山の中に入ってから忘れ物に気付いても「後の祭り」となってしまいます。

## コンテスト当日

リグ, アンテナ, 発電機など機材一式を車 (サニー) に詰め込んで土曜日早朝出発しました。箱根, 伊豆スカイラインを通過して賀茂郡に向うと, 伊豆スカイラインではコンテストの準備をしているグループを

発見。ご挨拶・エールの交換をして目的地の賀茂郡に向かい, 到着は昼頃でした。それからアンテナの設営, 車の中のセッティングを行ってコンテスト開始に備えました。CL6DX は一度も組み立てたことが無く, 今回始めて使ったのですが, 運良く一発で OK でした。

## スタートから終了まで

21 時のスタート直後は天気もまあまあだったのですが, 0 時頃からは暴風雨になってしまいました。シャックのサニーもグラグラ揺れる状態で, 発電機の給油に外に出るのもためらいました。

これが昼ぐらいまで続き, 撤収は暴風雨の中ですぶ濡れになるのを覚悟していたのですが, 終了の 15 時頃には小降りになってずぶ濡れは免れることが出来ました。

4 エリアと 6 エリアのマルチがすごく少なかったです。5 エリアは全部できたのに不思議でした。4 エリアでできたのは広島だけ, 6 エリアは宮崎, 鹿児島, 沖縄だけでした。

## 反省点

「とにかく入賞」が目標でしたから一応達成したことになりますが, 2 エリアの入賞局の中ではマルチが一番少なく「質より量」になってしまった。50MHz での参加経験が少なくコンディションの把握がまるでなっていないようです。もう少し経験を積んで, 開ける時間帯を覚えてマルチを取りこぼさないようにしたいと思います。

## アドバイス

アドバイスする程立派な成果を出している訳ではありませんが, 最近少しは入賞できるようになってきたのは FD コンテストで JK1YMM / 2 に参加させてもらっていることが大きいと思います。移動運用のコツやオペレーションなど学ぶことが多くあったと思います。

たまには, クラブなどグループでいっしょにコンテストをやるのも良いのではないのでしょうか。

## オペレートに専念できる環境を作ることが重要

電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド  
関西 1 位

JK3HLP/3 上田 崇史

得点		マルチ		
612	×	55	=	33,660



### プロフィール

1983 年開局。コンテストには、社団局からが主であったが素晴らしい先輩方に影響 (洗脳?) され、個人局でも出るようになった。一時期無線から遠ざかったが 1995 年の XPO コンテストより復活。

以降コンテストでは 6mMIX 中心で参加。96 年の HAMFAIR でついつい買ったきゅーあーるえるクラブ発行のコンテストガイドブックに刺激を受け、それ以降はマルチバンド参加もするようになり、最近では ALL JA, 全市全郡コンテストはマルチバンド参加している。

### 使用機材

- RIG:FT-1000MP+トランスバータ
- ANT:4ele HB9CV × 2 8mH 北東向け  
2ele HB9CV 10mH 北向け (16 年もの)  
5ele 6mH 西向け (自作)
- SOFT:zLog
- 電源:YAMAHA ET-800

### なぜこの部門を選んだのか

元々 6m というバンドが好きで、またこのコンテストは 4 大コンテストの中でもっとも 6m での局数が期待できるため。

### 獲得目標

このコンテストは、コンディションによって結果が大きく左右されるのですが、一応前年の自分の局数を超えて、あわよくば全国 1 位を取ることを目標としました。

### 改善・強化ポイント

西向けのアンテナを、4ele HB9CV から自作 5ele に変更。その他は、効果のあった前年のフィールドデーコンテストと同じ構成としました。

### 準備

仕事が忙しく、直前まで参加できるかどうかすら分からず、何とか土日だけでも空けられるようスケジュールを調整に走った。

前日の帰宅が遅くなる可能性が高かったので、前の週末のうちに車に機材を積み込んでおいた。

### コンテスト当日

台風が、日本海を通過してきて天候があれそうだったので、早めに家を出た。現地に着くと、既に雨が降っていたが、天候が悪化するだけと考え、雨の中設営。結果的には天候は回復するも、風が強くなってきたので正解だったと思う。

コンディション把握に昼過ぎからワッチすると、14 時過ぎには ES が 7 エリアの南まで下りて来ていた。本番も期待できそうだ。

### スタートから終了まで

21 時。スタートで、いつも通り SSB で RUN するも、開始 30 分でレートが落ちる。天候のためか参加局が少ないようだ。

レートが上がらないまま、22 時半に CW に QSY。

こちらは結構にぎわっているように思えるが、まずはコンテストの醍醐味の RUN で稼ぐ。

レートが落ちてきたところでいつもよりは早めに呼びに回って、気が付けば最初の 3 時間は昨年と同レートに近いところまで追いついていた。

しかし、ここからの落ち込みがきつく眠気が襲ってくる。日頃の疲れから、2 時台には半分意識を失う。

そんな中、宮城 (06) と QSO。蔵王だろうか、なんと P とは驚いた。

ちょっと早いのが、効率が悪いので 3 時には寝て 5 時に起きることにした。

4 時半過ぎに、豪雨で目が覚めてしまった。発電器を回さないと、と思いつつあまりの雨に何もする気がしない。

ようやく 5 時に発電器をスタートさせ復帰するが、発電器の回転が重く電圧降下がきつい。雨ざらしがいけないと思うが後の祭り。パワーを絞ってだましだまし出る。

5 時過ぎ、いつも早いタイミングで QSO できる 8 の局と QSO。大オープンの予感がした。その後、8 時までにはオープンもなく GW 勝負になる。

天候が悪いので、局数は伸びそうにない。ようやく鹿児島 (46)GET で 40 マルチ。8 時過ぎから ES がオープン。まだ中途半端なオープンで、2 マルチ GET だけですぐ聞こえなくなる。

雨が弱まり、発電器の方も調子を取り戻すが、強烈なノイズを発生し、弱い局の受信に苦勞する。

9 時頃から大オープンとなり、この時間帯だけは発電器ノイズも関係なく一気にマルチをのばす。なんと、新潟 (08) までオープンしてバンドがにぎわっている。沖縄 (47) も SSB で聞こえるが、1 エリアのパイルに歯が立たず、あきらめて CW で CQ を出していると、なんと別の局から CALL された。TNX!

その後もずっと 8 の ES が浮き沈みしながら聞こえ続けていたが、ニューマルチもほとんどなく、伸びないまま終わってしまった。

#### 反省点

局数で、前年の 100 局以上減でした。

具体的には西方面の局が少なく、前年に比べ 2~

6,9 エリアを 10~20 局づつ落としてしまいました。

逆に、1,7,0 エリアは微増だったので、それだけ近くの局が少なかったのでしょう。

マルチでも、島根を落としたのはこれまでで初めてでした。

得点も順位も下がりましたが、目立ったトラブルは発電器関係だけでしたので、今回は割と順調に結果を出せたほうと思います。

但し、今回もコンテスト前に寝ることができず、睡眠不足の中でオペレートし、途中で多めに寝る事になってしまいました。

疲れているに関わらず、コンテスト前はどうも気になって寝られないのです。薬、アルコール以外で、うまく寝られる方法があれば教えてください。

#### アドバイス

6m の場合は、移動運用が中心になりますので、毎回設営しなければならず固定運用に比べて余計なトラブルがつきものです。

そのため、確実に設営できる設備とし、無用なトラブルを避けオペレートに専念できる環境を作ることが重要だと思います。

その上で、最後まで気力を振り絞って粘ることと、毎回何らかの工夫をして、前回よりレベルアップをはかりながら、目標を持って参加し続ければ入賞も見えてくるのではないのでしょうか。

## コンディションが悪く午前中で撤収 電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド 東北 1 位

JN7TUO 尼本孝晃

得点		マルチ		
310	x	27	=	8,370

#### プロフィール

1972 年山口県防府市で JA4VYD を開局、高校 1 年生でした。開局当初から国内外のコンテストに冷やかし程度で交信していましたが、書類を提出することはあまりありませんでした。コンテストに本気

で参加するようになったのは7エリアに引越ししてきた1993年あたりからで、現在のQTH福島でJN7TUOとして再開局してからのことです。



#### 使用装備

- RIG : FT-655
- ANT : クリエイト6エレ, ポール : フジインの7m
- 車 : 日産テラノ,
- その他 : ヘイルヘッドセット, zLog, 外部エレキー, 眠気防止ドリンク2本。

これらが最近の定番装備です。以前はCQマシンやPCからのキーイングを多用していましたが、最近では地声、手打ちでがんばっています。理由は簡単、「いねむり防止!!」です、

歳にはかえません。zLogは使い慣れたDOS版を使用しています。もはやzLogなしではコンテストはできない体になっています。

#### なぜこの部門を選んだのか

6mが大好きなので6m AND Downではいつも6mシングルを選択しています。でもいつかはマルチバンドにも挑戦したいと思っています。

#### 獲得目標

今回もそうですが、いつも前回の自己記録の更新を目標にしています。もちろんいつも入賞を目標としてがんばっているのは言うまでもありません。

#### 改善・強化ポイント

昔から言われることですが、コンテストは無線設備とそれをオペレートする運用者の総体の実力が計られる測定現場のようなものです、毎回なにかしらの反省点があります。そしてその反省が次回の改善点となります。

私の場合は6mに限って言えばRIG、アンテナなどの装備はここ数年変化がありません。いつも変わるのは車内のレイアウトでしょうか。限られた車内でいかに疲れずに長時間のオペレートができるかに工夫をこらす訳ですが、ここ数回は後部座席を畳み、ラゲッジスペースにオペレートデスクに座椅子スタイルで落ち着いています。

#### 準備

コンテスト当日は昼間のうちに買い出し等を済ませ、なるべく明るいうちにアンテナ設営等を終わらせてしまうようにこころがけていますが、もちろん仕事の都合でそうは行かないこともあります。今回は理想的なパターンで準備することができました。

#### コンテスト当日

コンテストはスタートから数時間でかなりの部分が決まってくると思っています。したがって夜9時から12時くらいまでは全力で突っ走ります。私の場合はこの時間帯は9割方CQを出す方にまわっています。CWの割合ですが、私は6mでは4割くらいでしょうか、電話のCQに5分応答がなければバンドをひとなめ呼びにまわり、その後CWに降りて同様のパターンでまた電話に上がる感じです。

6m AND Downの時期は夜中スカッターが聞こえていることも多いので注意しています。とくに明け方の長距離、7エリアから見ると3エリア以西の取りこぼしのないようにいつも神経を使います。装備品の眠気ざましドリンクがここで威力を発揮します。でもその反動でこのごろは日が出るとつい寝てしまうことが多いですが。

今回の6m AND Downでもっとも反省すべき点

は、あまりのコンディションの悪さにがまんしきれず、午前中で終了してしまったことです。今回はクラブの仲間とそれぞれのバンドを運用するスタイルで移動したのですが、どのバンドもコンディションに恵まれず 10 時にはもう根をあげてしまい、12 時には撤収してしまいました。

#### 反省点

スコアを見ていただければわかりますが、特にマルチに関しては各エリアの入賞局のなかで最低です Hi。いやはやお恥ずかしい。

#### アドバイス

毎回毎回反省すべき点は多々ありますが、それを少しずつ改善しながらスコアを伸ばしてゆくのもコンテストの楽しみ方のひとつだとおもいます。

スタートする前はみんな高スコアを出そうという気で始めますが、そうは問屋がおろしません。でも終わってみるとなんでこんなに高得点が出せるのだろうかという入賞局に驚きます。私はそういう局に少しでも追いつきたいと思っていつもコンテストに参加しています。

これからも各コンテストで当局のコールが聞こえましたらぜひコールしてください。

See you next contest ! tu ee

## 日本一をめざして富士山頂へ移動

### 電信電話部門マルチオペマルチバンド 東海 1 位 (全国 TOP)

JA1YWX/2 東京大学アマチュア無線クラブ

バンド	得点		マルチ		
50MHz	891	x	39		
144MHz	619	x	32		
430MHz	815	x	25		
1200MHz	299	x	16		
2400MHz	106	x	42		
合計	1,394	x	59	=	420,420

#### プロフィール

JA1YWX は東京大学本郷キャンパス内に開局している社団局です。最近では、駒場キャンパス内に設置している JA1ZLO での活動が多くなっていますが、今回は JA1YWX の知名度アップを狙って (?) 移動運用をすることにしました。

VHF, UHF, SHF では、基本的に見通し距離が受信可能範囲ですので、少しでも標高が高く全方位が見渡せる運用場所が望まれます。日本一を目指すなら日本一の標高を誇る富士山の山頂から参加しよう (!) ということになり、JA1YWX/2 静岡県富士宮市移動での 6m AND DOWN コンテスト参加が決定しました。



Photo by 7L4HHE

#### 使用設備

担ぎ上げる機器は必要最小限にとどめることにして、とにかく軽いものを用意しました。アンテナは市販品を改造するなどして、重さを抑えつつ最大限にゲインを稼げるようにしました。パドルなど重量物は当然無しですが、小型 PC ばかりを用意したのでシリアル/パラレルポートインタフェースを装備していません。というわけで US-BIF4CW を使用してキーイングすることにしました。ソフトはもちろん zLog for Windows です。

#### 部門選定と目標

参加者を募ったところ JM3CRK, 7N2GHD, 7N3PZJ, 橋本康史, 7L4HHE, 谷川智洋, JG5CBR の 7 人が集まったので、全員が賑やかに騒いで満足できるよう、電信電話マルチオペオールバンド部門 (XMA) を選択して参加することにしました。もちろん全国優勝を狙います。名古屋大学 JR2ZIA/0 が 1998 年に樹立したレコード 2,304 x 184=423,936 を破ることを目標としました。

## 改善・強化ポイント

これまでの大抵の移動運用では、機材を運んだ車をそのまま簡易シャックとして利用する、いわゆるお手軽移動運用が主体でした。今回は、標高差 1000m 以上を車無しで移動しますので、自分たちの体力を考慮した計画が必要です。改善点としてはとにかく軽量化。強化する点は無し。敢えて言うなら気力の充電くらいでしょうか。重点的に設備の簡略化を図ることにしました。

## 準備

50MHz は 4 エレ HB9CV, 144MHz は 5 エレスタック八木, 430MHz は 8 エレスタック八木, 1200MHz は GP(144/430MHz と共用), 2400MHz はコーリニアです。

移動局の免許状は 2400MHz まででしたので 5600MHz には QRV できません。

50MHz のアンテナは手で回転させることにして、144/430MHz の八木アンテナは TV/FM 用の小型ローテータで方位制御することにしました。マストパイプはアルミパイプと塩化ビニルパイプを併用しました。小物、工具などについては、不足があった場合には対処できない可能性が大きいので、すべての設備の接続図を書いてみて、過不足がなくなるようにしました。これらに加えて各自の食料や飲料水が必要です。

## コンテスト当日

前日夜のうちに富士宮口 (2400mh) の駐車場に到着し、自分たちの身体を高地の環境に慣らします。もし、翌日朝に風雨が強ければ駐車場近辺から運用することにしました。安全第一です。幸いなことに天候は良好でした。

早朝に機材を分担して出発し、約 5 時間半かけて富士山頂の 3776mh 地点まで登りました。登山している道中は酸素の欠乏でしんどかったのですが、山頂に着くとなんだか頭がガンガンします。私は過去に 2 回ほど登頂しているのですが、これは初めての経験です。どうも高山病のようです。症状はそれぞれでしたが 7 人とも発症しました。頭痛と吐き気に悩まされながらの設営となりました。

設営開始直後の天候は快晴で作業が順調に進みましたが、だんだんと雲が立ち込めてきて夕方には霧雨状態になってしまいました。このような天候では SHF での電波伝播が心配されます。

## スタートから終了まで

コンテストは 18 時間あります。最後まで運用を持続させるため、参加 5 バンドを 3 時間交代でローテーションし、7 人のうち 2 人は常に睡眠をとるようにしました。これはアマダくじによって決定しました。実際には高山病に

よる体調不良で十分に寝られなかったり、トラブルが発生して対処したりと、計画どおりにはなりません。準備中から感じていたのですが、酸素濃度が低いためか身体能力が低下していて、思うように身体が動きません。これは脳についても同様のようで、思考まで鈍くなって不思議な感覚でした。PC ロギングによる運用アシストは正解でした。

ただし、電波の到達距離がいつもの運用より格段に大きいため大部分がユニーク局であり、いわゆるスーパーチェックはほとんど意味を成しません。基本データを通常の 1 エリアでの運用実績から作成しているためです。さらに混信/混変調も強烈なので、交信時にはいつも以上に集中力が必要でした。

防水が甘かったためか、明け方には 144/430MHz の八木が使用不能になりました。GP1 本で 3 バンドを運用することになりました。これで受信状況はさらに厳しくなりましたが、他の設備にトラブルが発生しなかったのが幸いでした。マルチバンドマルチオペなのでとにかく電波を絶やさないように心がけました。

## 反省点

新レコード樹立を目指しましたが、あと一步のところまで及びませんでした。JARL 発表の結果によると JA1YWXX/2 2,730 × 154=420,420 です。あと 2 マルチの差で涙を飲むことになりました。5600MHz を運用できなかったのが残念です。いまさらながらマルチプライヤーの重要性を痛感しました。

やはり 2400MHz は雲 (水蒸気) に邪魔されたようで、局数/マルチ共に少ないです。具体的には JA1YWXX/2=106 × 42 で JR2ZIA/0=126 × 45 です。高地ほど都合が良いというわけでは無いようです。50MHz も 39 マルチと少ないです。これはアンテナ高が極端に低かったのと、アンテナ方位変更を手回しとしたため、あまりビームを活用できなかったのが原因だと思います。

マルチ探しステーションを設置したり PC をネットワーク化すれば、もう少し得点を上積みできたのでしょうか、今回は準備の都合で省きました。極限状態の中、用意した設備を最大限に生かして全力で戦えたと思います。オペレータ 7 人は満足感でいっぱいでした。

## アドバイス

山岳移動する際には風など天候や体力を考慮して行動しましょう。平均風速 20m/s を超える風が吹いていると初心者には登山は危険だと思います。平均風速が低くても瞬間的には強力な風が吹くこともあるので注意が必要です。今回は残雪があり、経路の途中から他の登山道へ回り込む予定でしたが、運良く当日になって除雪作業がされて歩けるようになりました。事前に正しい情報を得ておく必要があ

ります。

登山や下山の予定には十分に余裕をもち、ライトは必携です。特に帰りは疲労が大きいため交通安全に気を配ります。保険証などを持っておいたほうが良いです。

100円ショップでも売っている衣類圧縮袋は偉大です。荷物がコンパクトにまとめられます。

とにかく全体的なコンパクト設計と余裕のあるタイムスケジュールなど、事前準備がとても大事です。

最近、アマチュア無線のアクティビティの低下が指摘

されていますが、そんなことは感じませんでした。逆に、V/U/SHF って運用している人が多いんだなあと。タイムチャートを見てください(!)。富士山頂から QRV しているのだから当然と言えば当然です。

要は、切り口を変えることで楽しみ方は無限にある、ということです。日頃、国内コンテストでは呼ばれないからつまらないとお悩みの方、コンテストへの参加形態を再考してみても如何でしょうか。

## 各局の得点とタイムチャート

今回、コメントを寄せていただいた各局のログを分析してみました。タイムチャートは QSO 数を時間軸で集計したもので、何時にどの程度 QSO していたのかがわかります。

時間ごとの取得マルチプライヤーを見れば、何時に新しいマルチをゲットしているがわかります。今回取り上げたのはシングルオペは 50MHz バンド部門なので、2 日目 8 時台に E スポで遠方のマルチを稼いでいることが一目瞭然です。

JH7PKU/1

タイムチャート

	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	合計
50	128	101	85	53	48	30	19	18	31	38	29	44	52	49	42	39	59	34	899
累計			314		445			513		624		767		899					

## 時間ごとの取得マルチプライヤー

21	11	10	12	18	20	21	16	09	08	13	17	14	15	28	07	19
22	26	06	31	45												
23	30															
00	25	03	27	36	22											
01	24	29	23	37												
02	43	35	44													
04	33	40	05													
06	38															
07	04															
08	101	107	106	103	47	42										
09	46															
10	105	111														
12	39	108	34													
13	41	110	32													

JF1MIA/2

タイムチャート

	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	合計
50	48	39	50	46	29	20	6	-	15	20	18	36	18	18	44	20	32	26	485
累計			137		232			253		327			407		407			485	

時間ごとの取得マルチプレイヤー

21	14	16	11	13	10	18	12	07	17	09	15	08
22	26	21	20	39	22	36	37	45	25			
23	24	06										
05	19											
06	28	27	38	35								
07	03											
08	107	46	106	112								
09	47											
11	103											
12	108											

JK3HLP/3

タイムチャート

	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	合計
50	110	79	60	41	29	16	-	-	19	23	29	25	46	35	24	31	30	35	632
累計			249		335			354		431			536					632	

時間ごとの取得マルチプレイヤー

21	25	39	26	22	27	21	34	20	35	19	45	44	30	36	14	09	31	37	29	18	40	38	24	43	33	08	42
22	23	28	11	10	12																						
23	07	15	17	16																							
00	13																										
02	06																										
05	107																										
07	46																										
08	110	108																									
09	111	106	112	103	105	104	109	114	02	03																	
10	47	04																									
13	101																										

JN7TUO

タイムチャート

	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計
50	28	33	22	17	37	5	-	-	22	31	12	43	19	36	5	310
累計			83		142			164		250				310		

時間ごとの取得マルチプレイヤー

21	07	14	08	15	13	12	10	09	11
22	18	43	05						
00	28	06							
01	16	30							
06	26	17	31	25					
08	03	21	20						
09	19	47	45						
11	24								

JA1YWX/2

タイムチャート

	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	合計
50	145	101	96	47	38	25	31	30	34	39	43	35	34	50	52	39	28	43	910
144	103	88	69	49	42	13	1	8	12	23	31	32	24	19	22	22	26	43	627
430	120	101	83	63	35	26	12	9	13	24	34	41	51	62	52	54	31	41	852
1200	81	45	38	18	10	5	3	-	-	5	15	17	19	15	9	8	8	14	310
2400	20	5	6	3	1	1	-	-	-	-	4	3	2	3	1	-	-	6	55
合計	469	340	292	180	126	70	47	47	59	91	127	128	130	149	136	123	93	147	2,754
累計			1,101		1,477			1,630		1,976			2,391		2,754				